

最近、日本では金銭を得るため、「パパ（ママ）活」は若者に流行っている。しかし、「パパ活」とはなんのことだろう？簡単に言えば、「パパ活」とは中高生や大学生が年上の男性か女性と援助交際することを指す。普通は性行為ではなく、ランチや映画デートが多い。しかし、誘拐されるか強姦されるリスクがなくはない。このようは危険があるのに、なぜ若者たちは「パパ活」をするだろう？その上、パパ活をしている中高生を守るため、どうすればいいのか？

一番重要なパパ活をする理由は、上に述べた通りに、金銭やギフトを得るためである。若者は経済的にあまり力を持っていないし、中高生には年齢や教育によってアルバイトができないので、変則的な仕事を探すそうだ。そして、同調圧力も原因であるかもしれない。周りの仲間がパパ活をしたり、たくさんのお金を使ったりすることを見れば、若者は試したい気持ちが大きくなるだろう。

もう一つの理由は幸福である。パパ活の「パパ」も自分の力（お金）で女の人を喜ばせたりするのが好きそうで、女の人もその男性を喜ばせたりするのが好きそうだ。このようなサイクルに入ったら、やめにくいらしい。しかし、このサイクルにも危険がある。時間が経つにつれて、若者は男性を信頼するようになって、危ない状況になってしまうかもしれない。とくに中高生は若すぎるので、危険なことが自分に当たらないと思ってしまう可能性がある。

この中高生を守るため、親や先生はちゃんとインターネットの使用を見守ったり、リスクを説明したりするべきだ。それに、中高生に自分だけを守るのではなく、仲間も守るべきだと教えるべきだ。確かに、親や先生たちはすべての生徒の行為をコントロールすることをできないので、他の生徒にも少しでも頼った方がいい。

つまり、日本のパパ活をしている若者たちはよくギフトや金銭をもらいながら、とても危ない世界にのめり込んでいる。誘拐されることも強姦されることも起こるかもしれないので、中高生は特に危険にさらされている。若者はパパ活について興奮していても、大人も友達も守るべきだ。